

NO. 301

じゅんあい

平成24（2012）年4月1日

来るべき方



隠れキリシタンが拝んでいた十字架のキリスト像

「ヨハネは牢^{ろう}の中で、キリストのなされたことを聞いた。そこで、自分の弟子^{でし}たちを送^{たず}って、尋ねさせた。『来るべき方^{きた}は、あなたでしょうか。それとも、ほかの方を待たなければなりませんか。』」（マタイ 11：2、3）

洗礼者^{せんれいしゃ}ヨハネとイエスとの関わりは、言語^{げんご}で表現しえない程^{ほど}深く、神秘^{しんぴ}的である。

「わたしたちの間で実現した事柄^{ことがら}について、最初^{もくげき}から目撃^みして御言葉^{みことば}のために働いた人々がわたしたちに伝えたとおりに、物語^{ものがたり}を書き連ねようと、多くの人々が既に手^てを着けています。

そこで、敬愛^{けいあい}するテオフィロさま、わたしもすべての事を初めから詳しく調べていますので、順序正しく書いてあなたに献呈^{けんてい}するのがよいと思いました。

お受けになった教えが確実なものであることを、よく分かっていただきたいのであります。

ユダヤの王ヘロデの時代、アビヤ組の祭司^{さいし}にザカリアという人がいた。その妻はアロン^け家の娘の一人で、名をエリサベトといった。二人とも神の前に正しい人で、主の掟^{しゅ}と定め^{おきて}をすべて守り、非のうちどころがなかった。

しかし、エリサベトは不妊^{ふにん}の女だったので、彼らには、子供がなく、二人とも既に年をとっていた。

さて、ザカリアは自分の組が当番で、神の御前^みで祭司^{つと}の務めをしていたとき、祭司^{さいし}職^{しよく}のしきたりによってくじを引いたところ、主の聖所^{せいじよ}に入って香^{こう}をたくことになった。

香をたいている間、大勢^{みんしゆう}の民衆^{みな}が皆外^{いの}で祈っていた。すると、主の天使^{てんし}が現れ、香壇^{かうだん}の右に立った。ザカリアはそれを見て不安になり、恐怖^{きようふ}の念^{ねん}に襲^{おそ}われた。

天使は言った。『恐れることはない。ザカリア、あなたの願いは聞き入れられた。あなたの妻エリサベトは男の子を産む。その子をヨハネと名付けなさい。その子はあなたにとって喜びとなり、楽しみとなる。多くの人もその誕生を喜ぶ。』

彼は主の御前に偉大な人になり、ぶどう酒や強い酒を飲まず、既に母の胎にいるときから聖霊に満たされていて、イスラエルの多くの子らをその神である主のもとに立ち帰らせる。

彼はエリヤの霊と力で主に先立って行き、父の心を子に向けさせ、逆らう者に正しい人の分別を持たせて、準備のできた民を主のために用意する。』

そこで、ザカリアは天使に言った。『何によって、わたしはそれを知ることができるのでしょうか。わたしは老人ですし、妻も年をとっています。』

天使は答えた。『わたしはガブリエル、神の前に立つ者。あなたに話しかけて、この喜ばしい知らせを伝えるために遣わされたのである。』

(ルカ 1:1~19)

こうして不妊の女といわれていたエリサベトがみごもり、ザカリアとの間に男の子をもうけた。この人物こそ、救い主イエス・キリストの先駆者として遣わされた洗礼者ヨハネなのである。



「そのころ、マリアは出かけて、急いで山里に向かい、ユダの町に行った。そして、ザカリアの家に入ってエリサベトに挨拶した。マリアの挨拶をエリサベトが聞いたとき、その胎内の子がおどった。

エリサベトは聖霊に満たされて、声高らかに言った。

『あなたは女の中で祝福された方です。胎内のお子さまも祝福されています。わたしの主のお母さまがわたしのところに来てくださるとは、どういうわけでしょう。

あなたの挨拶のお声をわたしが耳にしたとき、胎内の子は喜んでおどりました。主がおっしゃったことは必ず実現すると信じた方は、なんと幸いです。』

(ルカ 1:39~45)

胎内にいる時からヨハネはイエスの到来を喜び、踊ったほどであった。
「そのころ、洗礼者ヨハネが現れて、ユダヤの荒野で宣べ伝え、『悔い
改めよ。天の国は近づいた』と言った。

これは預言者イザヤによってこう言われている人である。
『荒野で叫ぶ者の声がある。“主の道を整え、その道筋をまっすぐにせよ。”』ヨハネは、らくだの毛衣を着、腰に革の帯を締め、いなごと野密を食べ物としていた。

そこで、エルサレムとユダヤ全土から、また、ヨルダン川沿いの地方
一帯から、人々がヨハネのもとに来て、罪を告白し、ヨルダン川で彼
から「バプテスマ」を受けた。」
(マタイ 3:1~6)

洗礼者ヨハネの働きはめざましく、メシア・救い主・イエス・キリストの到来のためにイザヤの予言の如く、主の道を整え、その道筋をまっすぐにするのであった。

「その翌日、ヨハネは、自分の方へイエスが来られるのを見て言った。
『見よ、世の罪を取り除く神の小羊だ。“わたしの後から一人の人が来られる。その方はわたしにまさる。わたしよりも先におられたからである”』とわたしが言ったのは、この方のことである。

わたしはこの方を知らなかった。しかし、この方がイスラエルに現れるために、わたしは、水で「バプテスマ」を受けに来た。』そしてヨハネは証した。

『わたしは、“霊”が鳩のように天から降って、この方の上にとどまるのを見た。わたしはこの方を知らなかった。
しかし、水で「バプテスマ」を受けるときにわたしをお遣わしになった方が、

「“^{くだ}霊”が降^{「バプテスマ」}って、ある人にとどまるのを見たら、その人が、聖霊によ^{さす}って洗^{さす}札^{さす}を授ける人である」とわたしに言われた。

わたしはそれを見た。だから、この方こそ神の子であると証^{あか}ししたの
である。』
(ヨハネ 1：29～34)

ヨハネは旧^{きゅうやく}約^{やく}の最後の予言者であった。そして、イエス・キリストの
ことを正しく自分の弟子達に告^つげ、自ら^{みづか}は消えゆく月のように、太陽な
るキリストの到^{とうらい}来^{らい}と共に姿を消してゆく。

ヘロデ王の時代サロメの進言により、牢^{ろう}の中で首切られて殉^{じゆんきょう}教^{きょう}して
ゆくのであった。イエスはこの事を大変悲しまれ、“女の胎^{たい}より生れし者
の中で、洗^{さい}札^ざ者^{しや}ヨハネほど偉大な者はいなかった”と叫ぶ・・・。

「ヨハネは牢^{ろう}の中で、キリストのなされたことを聞いた。そこで、自分
の弟子たちを送って、尋ねさせた。『来るべき方は、あなたでしょうか。
それとも、ほかの方を待たなければなりませんか。』

イエスはお答^{こた}になった。『行^みって、見聞^ききしていることをヨハネに伝え
なさい。目の見えない人は見え、足の不自由な人は歩き、重い皮膚病
を患^{わづら}っている人は清くなり、耳の聞こえない人は聞こえ、死者は生き
返^{かえ}り、貧^{まず}しい人は福音^{ふくいん}を告^つげ知らされている。わたしにつまずかない
人は幸^{さいわ}いである。』
(マタイ 11：2～6)

“来るべき方はあなたでしょうか”

思えば長い世紀にわたり、人々は救^{すく}い主^{ぬし}の到来を待ち望み、予言者達
もこの事を予言してやまなかった。

“来るべき方はあなたでしょうか”

「イエスはお答^{こた}になった。『行^みって、見聞^ききしていることをヨハネに伝え
なさい。目の見えない人は見え、足の不自由な人は歩き、重い皮膚病
を患^{わづら}っている人は清くなり、耳の聞こえない人は聞こえ、死者は生き

返り、貧しい人は福音を告げ知らされている。わたしにつまずかない人は幸いである。」 (マタイ 11:4~6)

これを聞いて洗礼者ヨハネは、どれほど安堵したことでしょうか。あゝ今や、長い長い旧約は終り、イエスによる新約時代が到来したのだ。

消えゆく月の如く、ヨハネはこの世を後にする。

その潔き姿にただただ感動するのみ。これぞ真の献身者。

今日、ヨハネのような人の出現を、イエスはどんなに願っておられることか・・・と思わされる。

ただ一途に、キリストのみを愛し、その御旨の実現のみに全生涯をかけたヨハネ。その神秘的な美に感涙せずにおられない。

“来るべき方はあなたでしょうか”

ヨハネの叫びがなぜか今もこだまする。



教会カレンダー (2012年)

- 4月1日 (日) シュロの聖日
- 6日 (金) 十字架の御受難日
- 8日 (日) 復活祭(イースター)

教会の御案内

礼拝	日曜日	朝10時から
聖書研究会	火・木・金曜日	夕7時30分から
教会学校 (子供の集まり)	日曜日	朝9時から

殉愛キリスト教会 牧師：山縣 實

〒920-0814 石川県金沢市鳴和町夕 210 Tel・Fax 076-251-2247

E-mail : jun-i-yamagata@ishikawa.email.ne.jp

URL : <http://www.ne.jp/asahi/jun-ai/christ-church/>